

江について語る田淵氏と聞き手の遠藤氏



完成したミニ門松と一緒に



にしんのすしを漬ける参加者たち



サンタさんからのプレゼントを受け取る参加者



江と敦賀のゆかりを知る

12月26日 大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」記念トーク

市民文化センターで、「江〜姫たちの戦国〜」の原作・脚本を手がける田淵久美子氏によるトークショーが開催されました。聞き手の福井新聞社論説委員遠藤富美夫氏とともに、作品ができるまでの秘話や江という女性像などについて語り、来場者を楽しませました。また、きらめきみなと館では金ヶ崎の戦いのパネル展示やお江グッズの販売など、観光客の受け入れも実施しました。

手作り門松で新年を

12月23日 お正月飾り作り

新年を前に、こどもの国で「お正月飾り作り」が行われました。小学生の親子10組が参加して、ミニ門松作りに挑戦。竹をのこぎりで切ったり、縄や竹板を巻き付けたりと、親子で協力し合って作っていきました。最後に松や南天、紅梅などの飾り付けをして完成。できあがった立派な門松を前に、子どもたちからは「上手にできた!」と嬉しそうな声が上がっていました。

作ろう! おいしい伝承料理

12月9日 伝承料理講習会

谷区の農家高齢者創作館で、ふるさと敦賀伝承料理講習会が行われました。今回は、敦賀の年始によく食べられている「にしんのすし」作りに、約50人の参加者たちが挑戦。敦賀市生活改善実行グループ連絡研究会の山本静子さんの手ほどきで、用意された麩に、大根などと一緒になしんを漬けました。漬けたにしんのすしは約2週間で作成する予定で、年始の頃にはちょうど食べごろになるそうです。

サンタさんに会えたよ

12月8日 クリスマスのつどい

一足早く親子でクリスマスを楽しんでもらおうと、子育て総合支援センターがプラザ萬家で「クリスマスのつどい」を開催しました。参加者は0～3歳児までの親子約200人。人形劇や、福井県を中心に活動する2人組「ナナ・イロ」によるミニコンサートなどが行われました。また、最後にはセンターの職員がサンタクロースの格好をして登場。子どもたち1人ひとりにプレゼントが配られ、楽しいひとときとなりました。

班ごとにまとめた意見を発表する児童



元気いっぱいにお堂へ向かう子どもたち



よくわかったよ 認知症のこと

12月17日 小学生対象認知症サポーター養成講座

子どもたちに認知症への理解を深めてもらおうと、咸新小学校で「認知症サポーター養成講座」が開かれました。小学生を対象とした講座は初めてで、4年生21人が参加。認知症になったおばあちゃんが登場するアニメを視聴したほか、自分が認知症になったときの気持ちや、周りにしてもらいたいことを班ごとに話し合って発表しました。参加した児童は、「もし家族や周りの人が認知症になったら、今日勉強したように優しく接してあげたい」と話していました。

今年も山の神様のもとへ

12月12日 山の神講

赤崎区の伝統行事「山の神講」が行われました。当番宿のお宅には、赤崎小学校の男子児童4人が集合。裸に白い短パン姿で、「かめし」と呼ばれるおにぎりを食べて腹ごしらえをした後、お供え物を手に区内のお堂に向かって出発しました。区民の皆さんが見守る中、「やーまのかんこのまーつりじゃ!」と掛け声を上げながら走った子どもたちは、お堂に到着すると神様に手を合わせ、再び当番宿まで走って戻りました。

平成22年 敦賀市10大ニュース決定

10	イスラエル観光団が初めて敦賀の地を踏む。「人道の港 敦賀ムゼウム」の展示物をリニューアル。
9	「福祉つるがめくもりプラン」と「いきいき子ども未来プラン」策定。
8	防災情報受信機（緊急時FMラジオ）の市民への貸与開始。
7	高速増殖炉「もんじゅ」が14年5カ月ぶりに運転再開。
6	中郷公民館が落成。同施設敷地から古墳時代の絵画土器が、西小学校では敦賀城関連の建物跡が発見された。また、向出山古墳出土の金張りかぶとが全国でも有数なものとの判明。
5	福井大学附属国際原子力工学研究所が駅前建設中。
4	敦賀市議会の議会改革が進む。初めて議会報告会を開催。本会議において対面による一問一答方式を導入。
3	第6次敦賀市総合計画の基本構想が決定。
2	敦賀駅の仮駅舎が供用開始され、新しいデザインの駅舎改築が本格的にスタート。
1	敦賀港躍進。 ○ 鞠山南多目的国際ターミナルが全面供用開始。 ○ 敦賀港が国の「重点港湾」（43港）に選定される。 ○ 韓国・釜山港との新規RORO船が就航し、国際コンテナ貨物取扱量が過去最高。